

和歌山の魅力 再発見!

プレミア和歌山が生まれて8年。
プロデューサー残間里江子氏を委員長に迎え、
和歌山の“夢”と更なる“魅力”の発掘に挑む。



平成26年度プレミア和歌山推奨品審査委員特別賞を受賞した「幻のはたごんぼ」。長さは1m、直径5～6cmもあるが柔らかく香りも豊かな伝統野菜。古くから高野山麓で栽培されてきた。



対談後、和歌山県のアンテナショップ「わかやま紀州館」で県産品を購入する残間委員長。和歌山に7頭もいるパンダの形をしたかまぼこめはり寿司などをお土産に購入いただきました。



■DATA/わかやま紀州館
東京都千代田区有楽町2-10-1 東京交通会館地下1階
営業時間: 10:00~19:00 (日曜・祝日は10:00~18:00)
03-6269-9434 (物産) 03-3216-8000 (観光)
メールアドレス: wtkankou@sepia.ocn.ne.jp
和歌山県の特産品が勢揃い。観光の情報収集と相談にもお気軽にお立ち寄りください。

知事対談

残間里江子 × 仁坂吉伸

プレミア和歌山推奨品審査委員会委員長 和歌山県知事
プロデューサー

仁坂知事(以下仁坂) ●残間さんには平成25年度からプレミア和歌山推奨品審査委員会委員長としてご尽力いただき、本当にありがとうございます。残間さんは審査委員長に就任していただく以前から和歌山とご縁があったと伺っています。

残間里江子(以下残間) ●和歌山出身ではなく、そう親しい友人がいた訳でもなかったんですが、以前から人生の中で大きな決意をもって何かをしようとした時には、必ず高野山を訪ねているんです。

仁坂 ●そして3月21日のお大師さんのご入定の日にお生まれになったとか。

残間 ●そうなんです。ですから空海さんと縁みたいものを勝手に感じていました(笑)。そして熊野古道や那智の滝にも度々伺っていますので、決して浅い縁ではないと思います。高野山は素晴らしい場所ですが、何より、空海という名前も素晴らしいですね。実は中国の青龍寺にも行きました。

仁坂 ●そうですね。それは素晴らしい。何度か和歌山にお越し頂いているようですが、プレミア和歌山についてはどのような印象をお持ちでしょうか。

残間 ●和歌山の食については、「みかんや梅が素晴らしい」とか、「美味しい生マグロがある」といった程度でした。地域の物が全国区で売れるためには安定的に供給できることが大事だと言われています。でも一方でインターネットがこれほど発達すると、小さなストーリーでも大きく広がって行く可能性があります。例えば生産者さんのご夫婦が、何度も失敗をし大変な苦労を重ねて開発したという話は、人々の共感を呼ぶ物語だと思えます。こういう物語をどんどん発掘していきたいと考え、プレミア和歌山審査会において、最終段階に残った人たちに「どんな思いで作ったのか聞かせて欲しい」とプレゼンテーションの機会を作っていました。

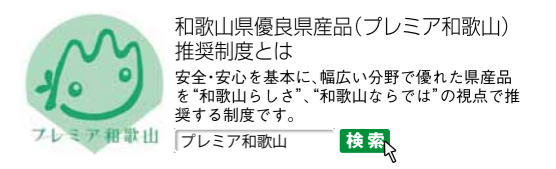
積極的なストーリーナイズ

仁坂 ●さすが残間さん。これはまさに、物語性のプロデュースですね。和歌山にはいい素材は沢山ありますが、販売する手段やノウハウがなかったんです。それでイタリアのワインの格付け、DOCのようなこれは良いモノですよと推奨する制度として8年前からプレミア和歌山をはじめました。

残間 ●いい制度ですよ。審査会の最終段階のプレゼンで生産者の方々が、凄く大変だったとか、一人で頑張ったとかやって作ったんだとか、素朴な語り口調で話されるわけです。時にはこちらから、これからの後継者は?などと質問すると、最近、高校生の息子がやる気になってくれましたとかね。書類審査と試食だけでは知り得ない、とって素敵な物語がどんどん出てくるんですね。こうなると特別賞は1人しか選ばないものだから、奨励賞を急遽つくりました。や



プレミアム和歌山パートナー
泉麻人さん(コラムニスト)、荻野アンナさん(作家)、クミコさん(歌手)、弘兼憲史さん(漫画家)、山本一力さん(作家)。各界でご活躍中の5人の皆さんに応援団として「プレミアム和歌山」の魅力を紹介発信していただいています。



つばり現に作った人と接してみると物語が際立っているんですよ。26年度に特別賞を受賞した『幻のはたごんぼ』は、一度は姿を消したものの地元農家の方々が力を合わせ再生したという物語が、現在の日本人の心の琴線に響きます。そして食べてみると本当に美味しいですよ。こうした感動を受けると今度は色んな人に伝えたくありません。その上、数に限りがある。これも大切なストーリーだと思います。まさしく『幻』ですね(笑)。どこにでも売っているものではなくて、そこに行かないと手に入らない希少性とかをストーリーライズする。その上で戦略的な流通や販売方法を考えて行かなければなりません。でもその一

知事対談

残間里江子 × 仁坂吉伸

プレミアム和歌山推奨品審査委員会委員長 和歌山県知事
プロデューサー

感動の連鎖をもっと広げたい

仁坂●自分の価値は自分ではなかなかわからない。ですから残間さんのような方に、その価値について評価やアドバイスをしていただくということは、和歌山にとって本当に有意義な事だと思います。そして今度は残間さんのご発案で、魅力的なご友人の方々に「プレミアム和歌山パートナー」として就任いただきました。

残間●友人というにはおこがましい先輩もいらっしゃいますが、日頃親しくさせていただいている方々に、私を感じた感動を是非味わっていただきたいと思い、パートナーに就任いただきました。皆さんはそ

れぞれ、自分のエッセイに書いてくれたり、取材を受けた時に話してくれたり、感動の輪を広げてくれています。色んな所で、小さな点であったのがいつのまにか線になり、感動の連鎖は大きな面となります。こういう仲間たちも増やして行きたいなあと思ってますよ。

仁坂●それはうれいすね。大変期待しています。

残間●和歌山の人やモノは、底力もポテンシャルもあるんだけど、もう一押し足りないって思うことがあります。これ以上押すと凶々しいと思われるんじゃないかと、なんか遠慮しているっていうか…。でもほとんど行けばいいのって思うんです。

仁坂●よく言われます(笑)。紀州は昔から海山川が近くにあり、農産物や海産物が豊富にあったため、余裕があったんでしょうか。その上、都にも近く文化水準

も高かったからかな。

残間●私は高野山には十回近く、熊野古道にもお邪魔しましたが、和歌山は観光面でも魅力的なところがたくさんありますね。

仁坂●道路などのインフラが整っていませんので、観光面では損をしている部分もあったのですが、今年開催する「紀の国わかやま国体・わかやま大会」の開催までに、頑張っ

残間里江子(ざんまりえこ)

1950年仙台市生まれ。アナウンサー、雑誌記者、編集者を経て、1980年、株式会社キャンディッド・コミュニケーションズを設立。2009年、新しい「日本の大人像」の創造を目指し、会員制ネットワーク「クラブ・ウィルビー」(<http://www.club-willbe.jp>)を設立。内閣府、財務省、国土交通省、総務省など、行政諸機関の委員を数多く歴任。2013年からプレミアム和歌山推奨品審査委員会委員長

おもてなし環境の充実を

仁坂●そのチャンスを活かすため、去年はグステイネーションキャンペーンなどで大いにPRしてきました。その成果もあってか楽天トラベルの「2014年国内旅行伸び率ランキング」では第2位。JTBの「GW国内宿泊人気ランキング」では第3位になりました。外国人宿泊客も過去最高の30万人台で、日本全体が129.4%に対し和歌山県の伸び率は143.4%と大きく上回っていました。

残間●高野山は外国人にも人気で、特にフランスからの旅行者が多いそうですね。

仁坂●それはミシユラングリーンガイドの効果が大きいですね。高野山も熊野も三ツ星ですから。さらに今年は、「ナショナルジオグラフィック・トラベラー」で、「2015年に訪れるべき世界のベスト20」に日本で唯一、高野山が選ばれました。こういった客観的な高い評価というものは、もの凄く効果がありますよ。

残間●猫のたま駅長で有名な貴志駅も外国人観光客に人気ですよ。

仁坂●和歌山電鐵貴志川線です。実は一時

廃線の危機を迎えていました。ところがたま駅長の人気で内外の観光客が増え、貴志川線も息を吹き返しましたが、たまちゃん「は天寿を全うしましたが、たまちゃん気を何とか持続させたいと思います。また去年白浜では双子のパンダが生まれ、現在7頭のパンダファミリーが住んでいます。

残間●去年、熊野三山を詣でた後、アドベンチャーワールドに行き、パンダにも会ってきました。

仁坂●和歌山には魅力的なコンテンツが多く、たくさんの方に来て頂いているのですが、今度はその人たちをリピーターにしていかなければ一過性のブームに終わってしまいます。そのためにおもてなし環境の整備にも力を注いでいます。まずはフリーWi-Fi環境の整備、それとこれは日本一だと思っておりますが、観光地のトイレの整備。おもてなしトイレ大作戦と銘打ち、温水洗浄機能付きの洋式トイレの標準装備を集中的に進めています。

残間●それは素晴らしい。トイレが美しいって本当に大切ですよ。おもてなしの基本です。後世、仁坂知事は「トイレ知事」って呼ばれるかもしれませんね(笑)。和歌山は、食や観光など色んな分野でポテンシャルは結構高いですよ。これからのますますの活躍を期待します。



仁坂●こちらこそ残間さんには今後もお力を拝借しなければなりません。本日はありがとうございました。